

リスクマネジメントグループ グループ活動記録

作成：川越（駒澤大学）

1. 日時：平成 17 年 7 月 13 日（水）10：00～14：30

2. 場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館カフェテリア
：慶應義塾大学三田メディアセンター会議室

3. メンバー

・出席 10 名

小生方麻里（麗澤大学）、片岡真裕子（東京農業大学）、川越智之（駒澤大学）、
助川敦子（文化女子大学）、楠山直文（成城大学）、関全葵（東京家政学院大学）、
高田涼子（国立音楽大学）、土屋貴之（法政大学）、新見敏子（中央大学）、
森田敦子（東京国際大学）

4. 討議内容

（1）先月に引き続き、個人情報保護法について討議を行った。内容は下記のとおり。

チェックシートについて

総務・整理・閲覧の 3 グループに分け、それぞれチェックシートとして該当する項目
を話し合った。

< 閲覧 >

- ・ 各種申込書
 - == > 保存場所（鍵がかかるところ）
 - == > 保存年限を決める
 - == > 保存後の扱い（シュレッダーをする etc）
 - == > 単票やノートが見える位置にないか
- ・ 督促
 - == > 督促状に載せる内容・項目・範囲
 - == > 本人以外が電話に出たときに伝える内容
 - == > ハガキ督促するときに載せる内容
 - == > 呼び出し掲示するときに載せる内容
- ・ 落とし物
 - == > 確認方法
 - == > 掲示するときに載せる内容
- ・ 名簿
 - == > 管理方法

- ==>ルール作り
- ・ 文献複写で他大学から情報提供を求められたとき
- ・ 外部利用者の情報
- ・ 収集したデータ
 - ==>入退館情報
 - ==>ID・パスワード
 - ==>貸出記録の開示
- ・ セキュリティ対策
 - ==>PCの利用制限
- ・ ホームページ掲載内容
- ・ ネームプレートの表示
- ・ 利用目的の掲示

<整理>

- ・ 購入希望
 - ==>情報収集の範囲
 - ==>発注のとき希望者が特定できないようにする
- ・ 寄贈
 - ==>寄贈者名の公表について
- ・ 個人情報載っている資料の受け入れ

<総務>

- ・ 人事情報
 - ==>専任職員、アルバイト、委託スタッフ
- ・ 会計情報
 - ==>振込先情報
- ・ システム
 - ==>セキュリティ情報
- ・ 全体として個人情報保護方針をつくる
 - ==>大学全体の方針とともに、図書館としての個別方針を立てる
- ・ 相談窓口の設置
- ・ 研修プランの策定
 - ==>専任職員、アルバイト、委託スタッフを対象
- ・ 管理責任者の明確化
- ・ 委託先との契約内容の確認
 - ==>賠償責任の明示 etc

< 共通 >

(予防)

- ・ 利用目的の明示
= = > ホームページ、掲示、刊行物
- ・ 責任者の決定
- ・ 収集する情報の範囲 (必要な情報のみ収集)
- ・ 問い合わせ窓口
- ・ プライバシーマークの取得
- ・ 民間保険会社の大学向け賠償責任保険への加入

(事後対応)

- ・ 広報対応
= = > 謝罪 etc
- ・ 被害者対応
- ・ 原因究明と報告
= = > 今後に向けた見直し
- ・ 法的責任について対処

(2) 今後のまとめ方

「情報漏洩の予防」と「情報漏洩の事後対策」の2つの柱に分けてまとめる
閲覧・整理・総務に分けて、チェックシートを作成する。あわせて共通するものの
シートも作成する。

発表に向けた構成案

- ・ 大学図書館におけるリスクマネジメントとは
(問題利用者・個人情報・自然災害 etc)
- ・ 個人情報保護法について
- ・ 自然災害について[未定]
- ・ まとめ

チェックシートについて

閲覧・整理・総務 (共通) の小グループごとに合宿までに作成し、途中経過を全体
にメールし、合宿に持ち寄って全体で検討することとした。

閲覧：楠山、助川、関、高田

整理：小生方、片岡、森田

総務 (共通) : 新見、土屋、川越

以上